

千川中学校複合施設の基本設計について

1. 施設の概要

(1) 建物

所在地	高松 1-9-21
敷地面積	約 8,600 m ² (本敷地) + 約 700 m ² (飛び地)
建築面積/延床面積	約 3,600 m ² /約 12,000 m ²
構造階数	PC造、一部RC造、一部鉄骨造/地下1階～地上7階

(2) 各施設

施設	主な仕様など
千川中学校 延床面積：約 9,500 m ² 校庭面積：約 3,850 m ² フロア：地下1階～ 地上5階	4・5階：普通教室12室、少人数教室など 3階：職員室、特別教室、プールなど 2階：学習情報センター、特別教室など 1階：給食室、保健室、体育館など 校庭：150mトラック、50m直線走路など
教育センター（教育相談） 西部子ども家庭支援センター 延床面積：約 2,000 m ² フロア：6・7階	7階：子育て支援機能 プレイルーム、指導室、会議室など 6階：教育支援・発達支援機能 事務室、面談室など
地域交流 延床面積：約 500 m ² フロア：1・2階	2階：地域資料コーナー（学校図書館の一部開放）、 閉架書庫など 1階：展示コーナー、倉庫、会議室など
緑地公園（飛び地） 敷地面積：約 700 m ²	地域の集い・憩いの場、トイレなど

2. 経過

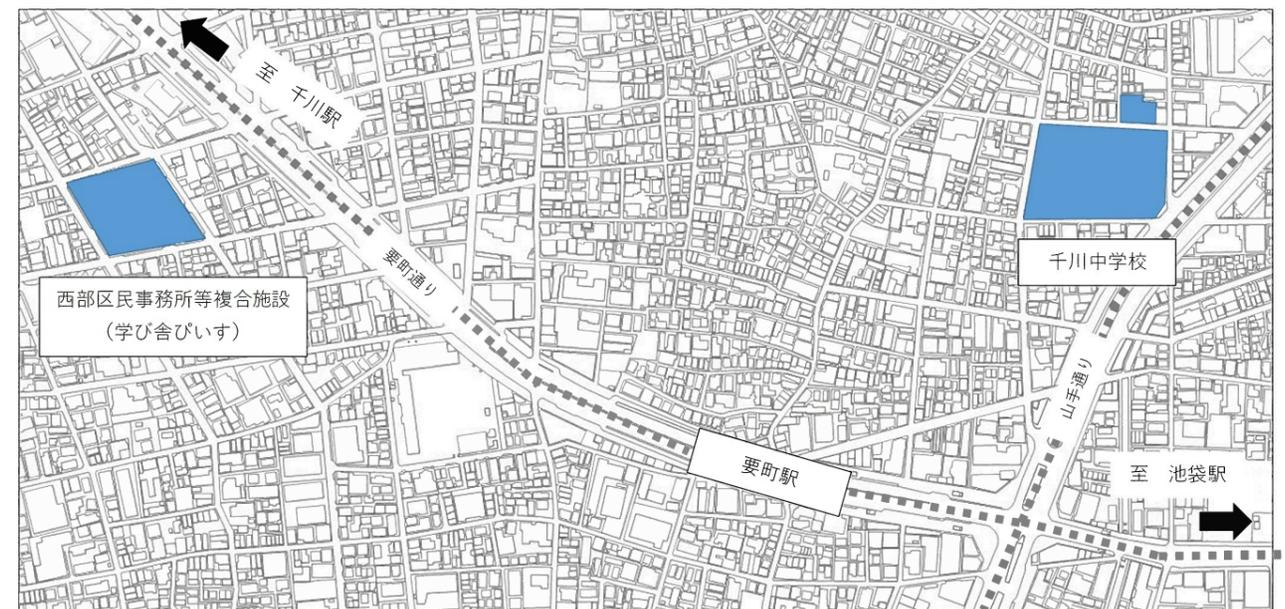
令和2年7月	千川中学校の建替え等を考える会設立
令和2年7月～令和3年11月	（9回+視察、説明会等）
令和3年12月6日	千川中学校の建替えに関する提言書を区長へ提出
令和4年1月	改築基本構想・基本計画策定
令和4年1月～4月	基本設計プロポーザル実施（石本建築事務所に決定）
令和4年9月	改築の基本方針について議会報告
同月	第1回地域説明会実施
令和4年12月	第2回地域説明会実施

※近隣住民への説明状況（地域説明会以外）
・地元町会役員会での説明（7月）、個別・集団での意見聴取（12月・3月・4月）

3. 今後のスケジュール（予定）

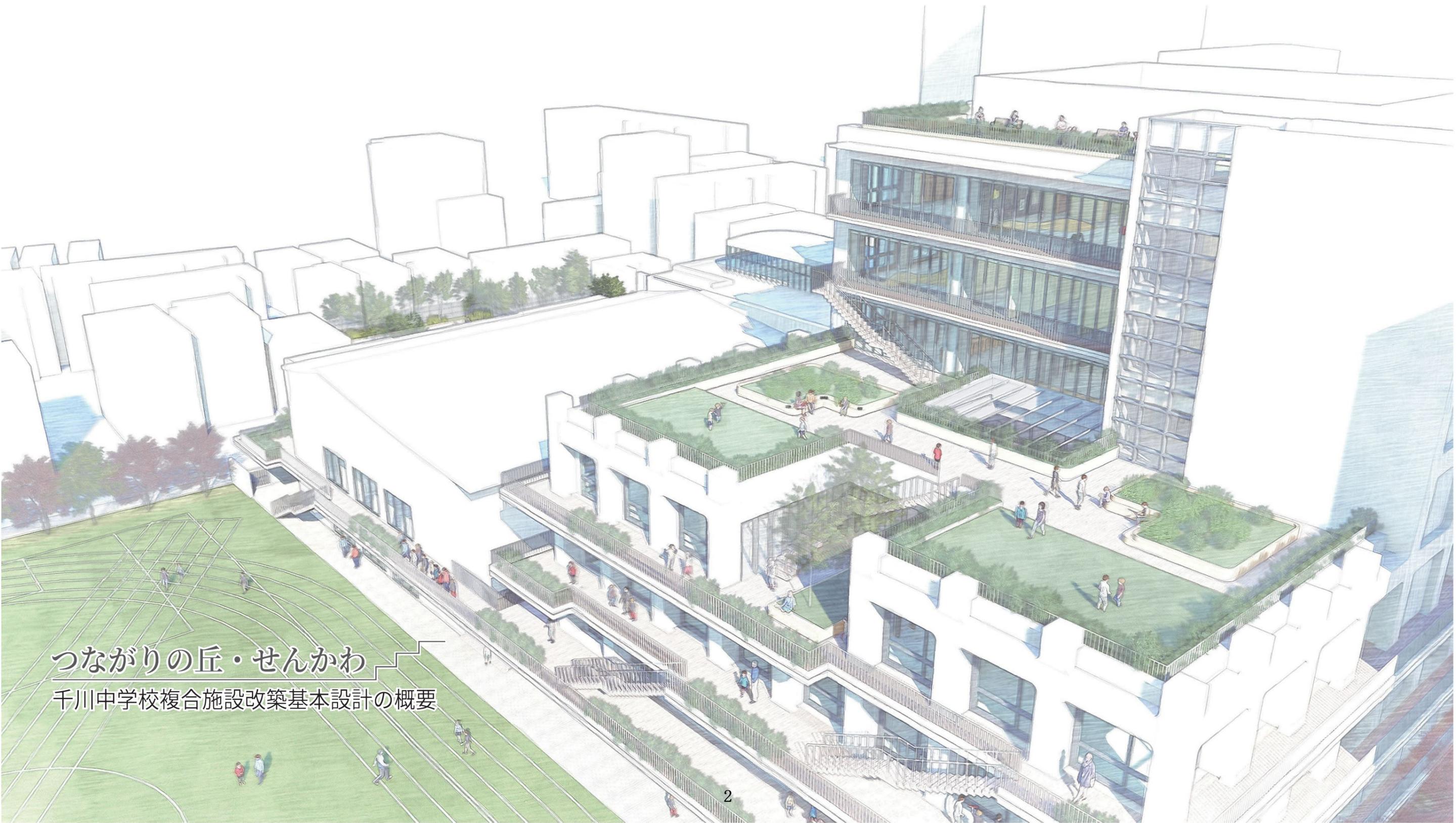
令和5年6月	基本設計の議会報告
令和5年7月	基本設計の地域説明会
令和5年6月～令和6年3月	実施設計
令和6年3月頃	現校舎解体工事説明会
令和6年4月	西部区民事務所等複合施設（学び舎 びいす）へ移転 現校舎解体工事
令和6年10月頃	複合施設改築工事説明会
令和6年11月頃	複合施設改築工事開始
令和8年度中	複合施設竣工 （西部子ども家庭支援センター・教育センター一部移転）

4. 位置図



5. 基本設計の概要

別添のとおり



つながりの丘・せんかわ
千川中学校複合施設改築基本設計の概要

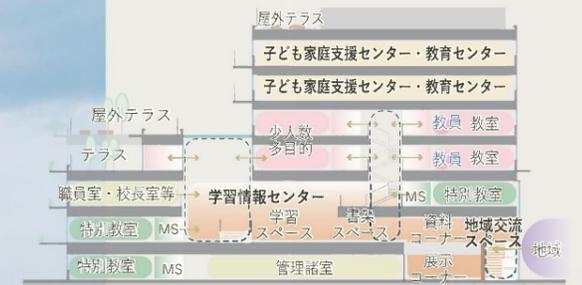
①南東外観イメージ

「つながりの丘・せんかわ」

～都市の文化と歴史に包まれて、楽しく学び、仲間と集い、
地域と共に歩いていく千川中学校～

(千川中学校建替え基本構想に関する提言書 千川中学校の建替え等を考える会
令和3年12月より)

いただいた提案書の内容を大切に、3つの用途がつながり、
すべての子どもたちが輝ける施設建設を目指します。



つながりの丘・せんかわ コンセプト図

1. 千川中学校らしさを大切にしたい学校

学習情報センターを中心とした学びの場、そして教室だけでなく、屋上庭園などの屋内外の様々な場所で異学年間の交流を促す仕掛け

2. 地域交流が生まれる場

地域に開放された学校となるため、学習情報センターと地域交流スペースが繋がる空間を創出

3. 救援センターの機能を充実

給食室、家庭科室、緑地公園を効果的に配置し、災害時の避難所運営を強力に支援する計画

4. 西部エリアの新しい子育て支援の拠点

敷地の有効利用で新たに生まれた床を活用し、施設面積と機能を拡充した西部子ども家庭支援センターと教育センター（教育相談）の併設を実現

垂直に広がる段々状の丘の緑、水平に広がる緑のネットワーク

- ・千川中学校の敷地周囲には歩道を整備し、桜をはじめとする並木道、歩道を整備して、**ウォーカブルなまちづくり**に
- ・高度利用によって生まれた段々状の屋上は、緑に囲まれた学習空間としながらも、子ども家庭支援センター・教育センターを訪れた子どもたちのあそび場にも利用する、**重ね使いの工夫で活きた屋上庭園**に
- ・既存プール敷地を緑地公園として整備し、**地域に親しまれる公園**に

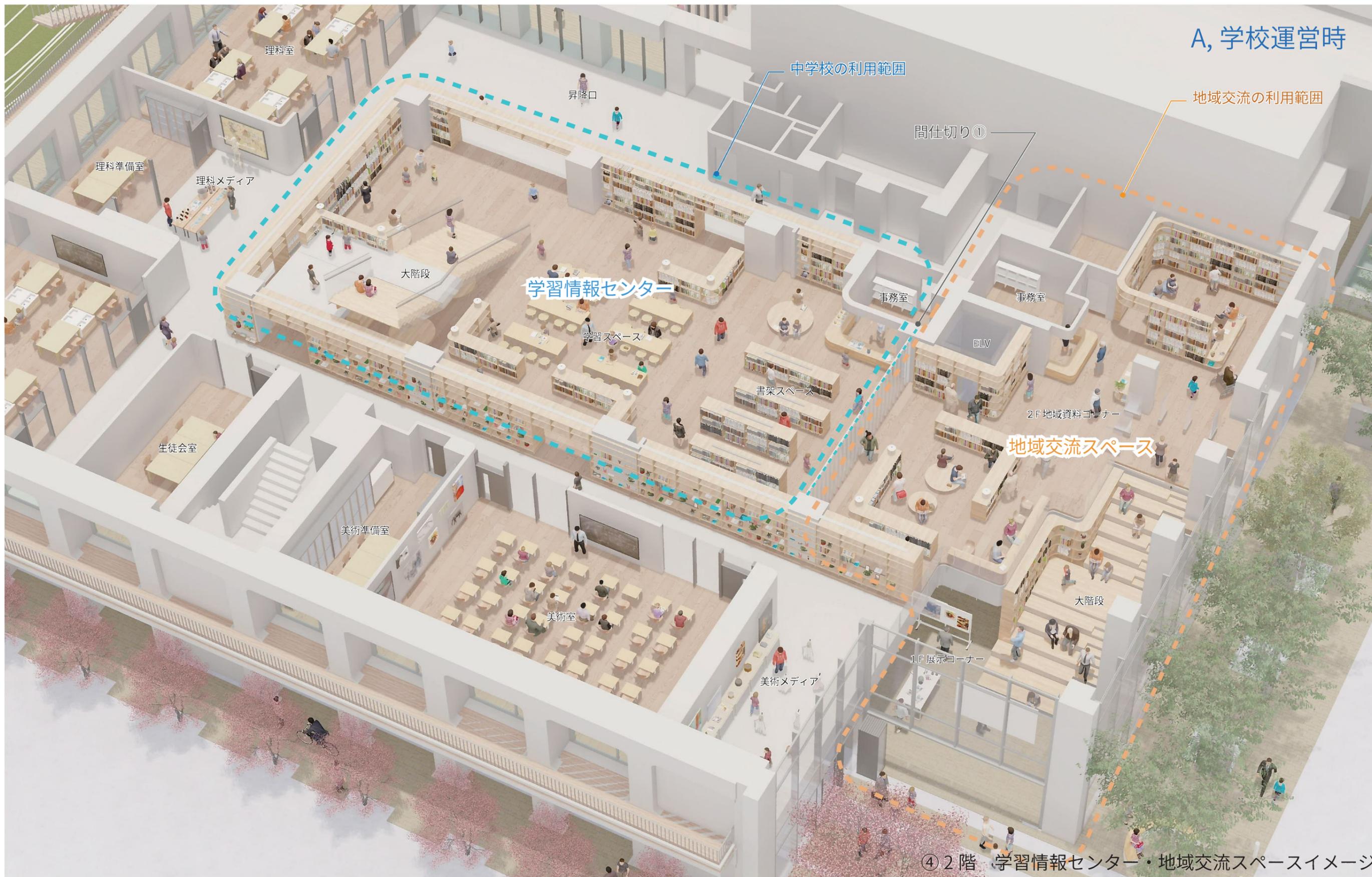


②南西側鳥瞰イメージ

※パースはイメージであり、今後変更になる可能性があります。

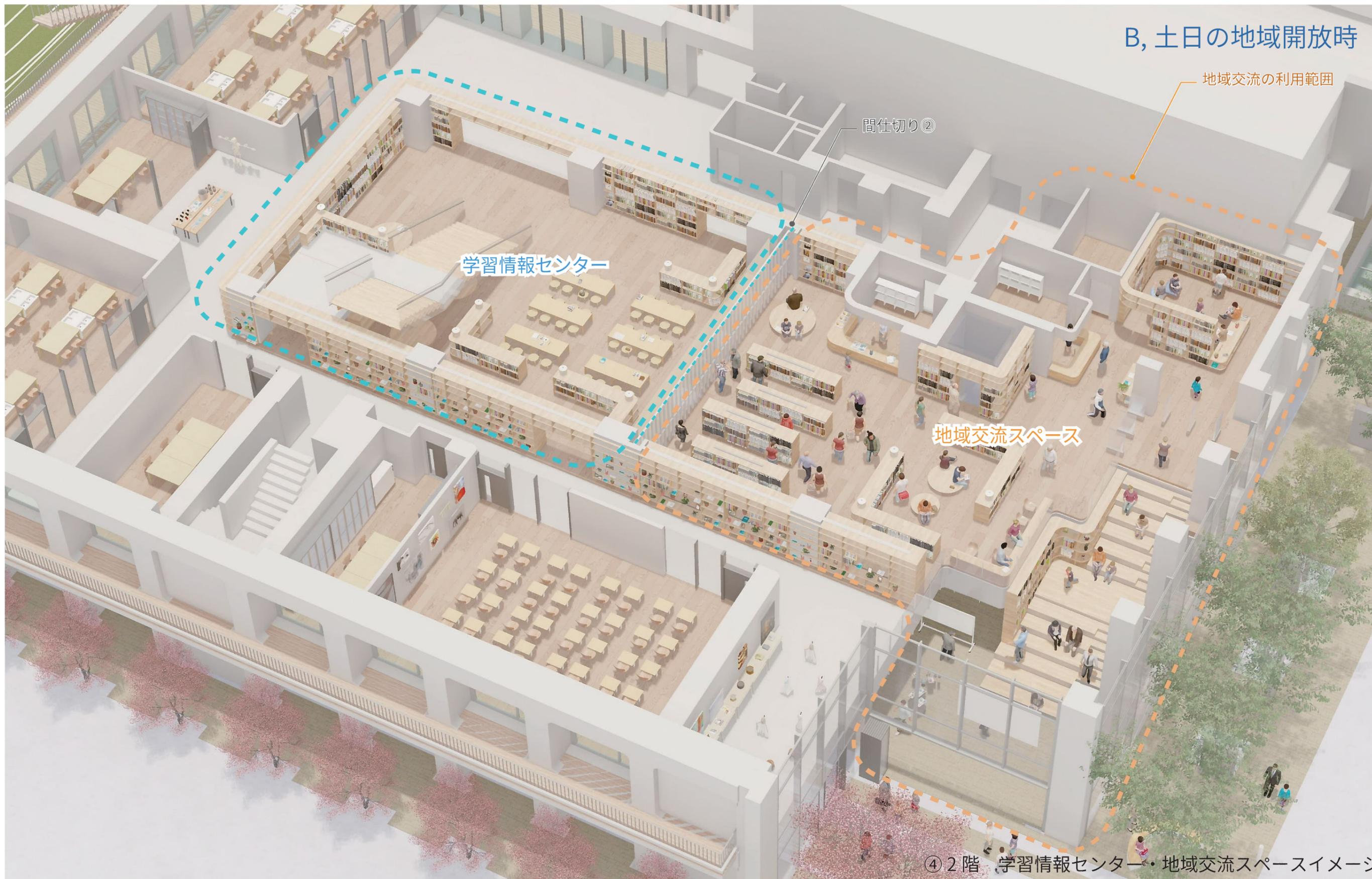


※バースはイメージであり、今後変更になる可能性があります。



④ 2階 学習情報センター・地域交流スペースイメージ

※パースはイメージであり、今後変更になる可能性があります。



※パースはイメージであり、今後変更になる可能性があります。



⑤ 5階 屋上テラスイメージ

※パースはイメージであり、今後変更になる可能性があります。

千川中学校複合施設

所在地 : 豊島区高松1丁目9番21号
 主要用途 : 中学校、地域交流、西部子ども家庭支援センター・教育センター
 敷地面積 : 8,668.91 m²
 建築面積 : 3,617.93 m²
 延べ面積 : 12,049.64 m²
 構造 : PC造 一部 RC造、一部鉄骨造
 基礎形式 : 杭基礎
 規模 : 地下1階 地上7階建
 最高高さ : 約30.0m
 駐車台数 : 2台 (車いす利用者用1台、マイクロバス1台)
 駐輪台数 : 58台 (中学校20台、子ども家庭支援センター16台、教育センター5台、施設利用者17台)
 : 4台 (学校用2台、地域交流スペース1台、教育センター・子ども家庭支援センター1台)

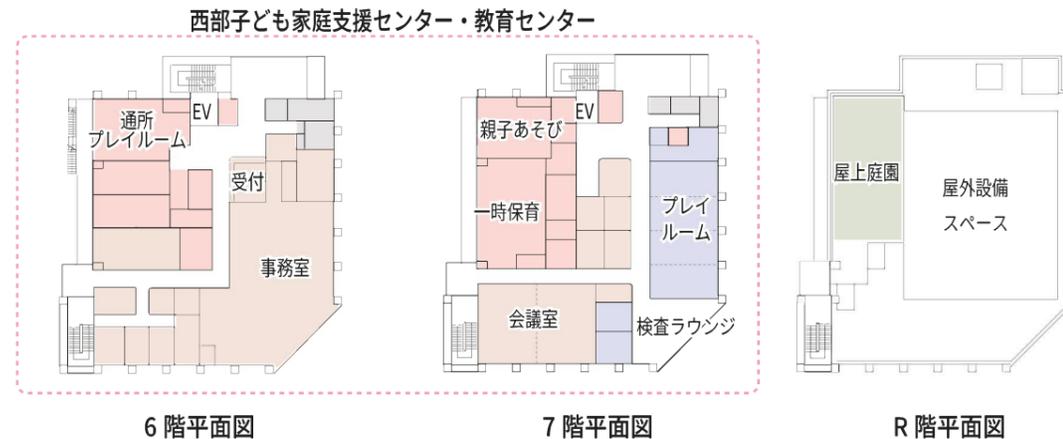
- 凡例
-  : 主出入口
 -  : イメージアングル



配置図兼1階平面図



地下1階平面図



6階平面図

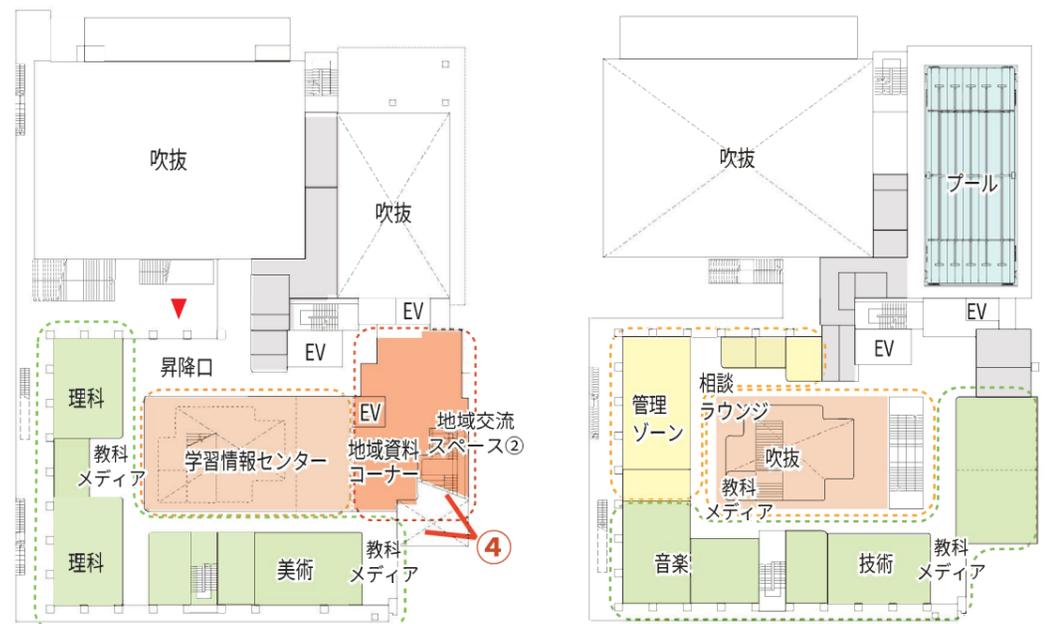
7階平面図

R階平面図



4階平面図

5階平面図



2階平面図

3階平面図

■西部子ども家庭支援センター・教育センター

〈施設面積〉

西部子ども家庭支援センター	550 m ²
教育センター（教育相談）	250 m ²
共用事務室・面談室	1,200 m ²
6・7階 計	2,000 m ²
※現在の施設面積の約 1.6 倍（1,200 m ² →2,000 m ² ）	

〈新たな特徴〉

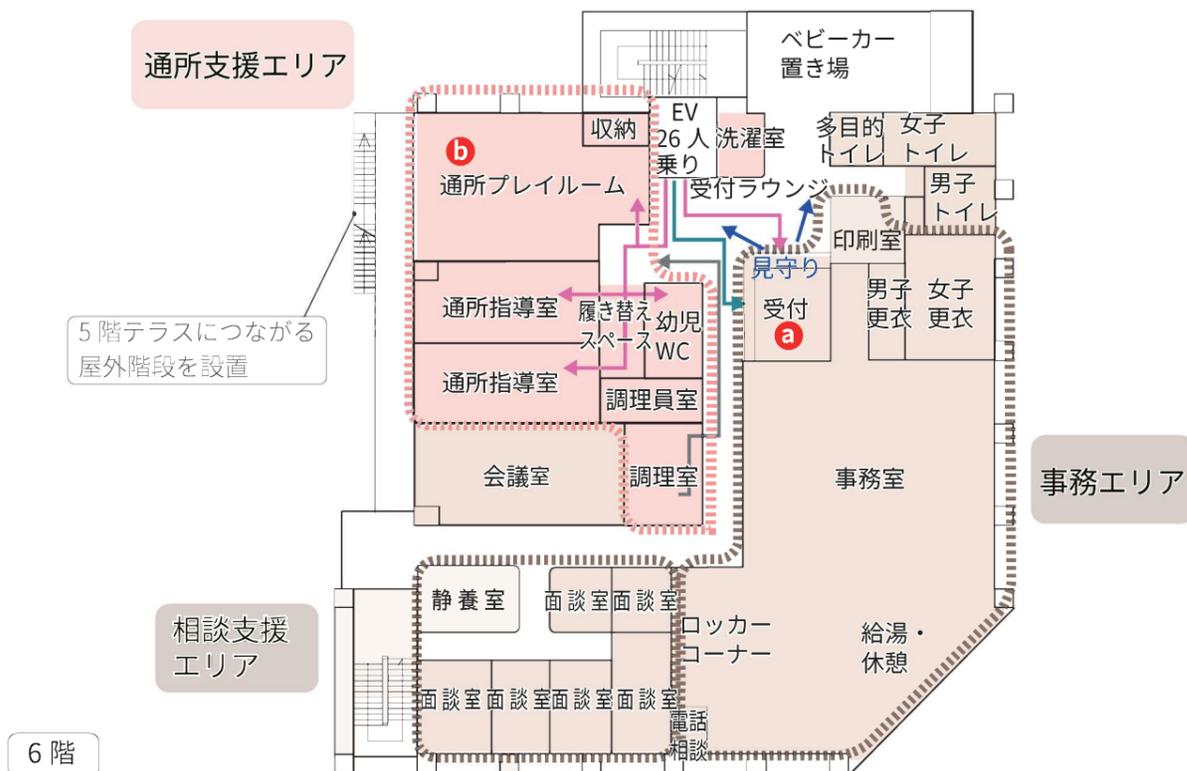
- 併設された両センターがフロアを共有することで、乳幼児期から18歳までの切れ目のない支援が実現され、乳幼児期から通い慣れた施設での継続相談が可能となります。
- 共通の受付や事務室などの共用化を図ることにより、きめ細かな情報共有や綿密な連携体制を促進します。
- 面談室、個別相談室の拡充とシェアリングによる弾力的な運用により、増加している新規・継続相談に対応します。
- 学校とシェアするプールや屋上テラスに加え、隣接する緑地公園を活用した屋外活動を展開します。
- バリアフリー対応の施設とすることで、在宅の医療的ケア児等の一時保育利用を可能にし、医療的ケア児等とその家族への支援を実施します。
- 児童発達支援センターを見据えた設備や機能を配置し、更なる支援を充実させた新たな子育て支援の拠点を目指します。

用途凡例

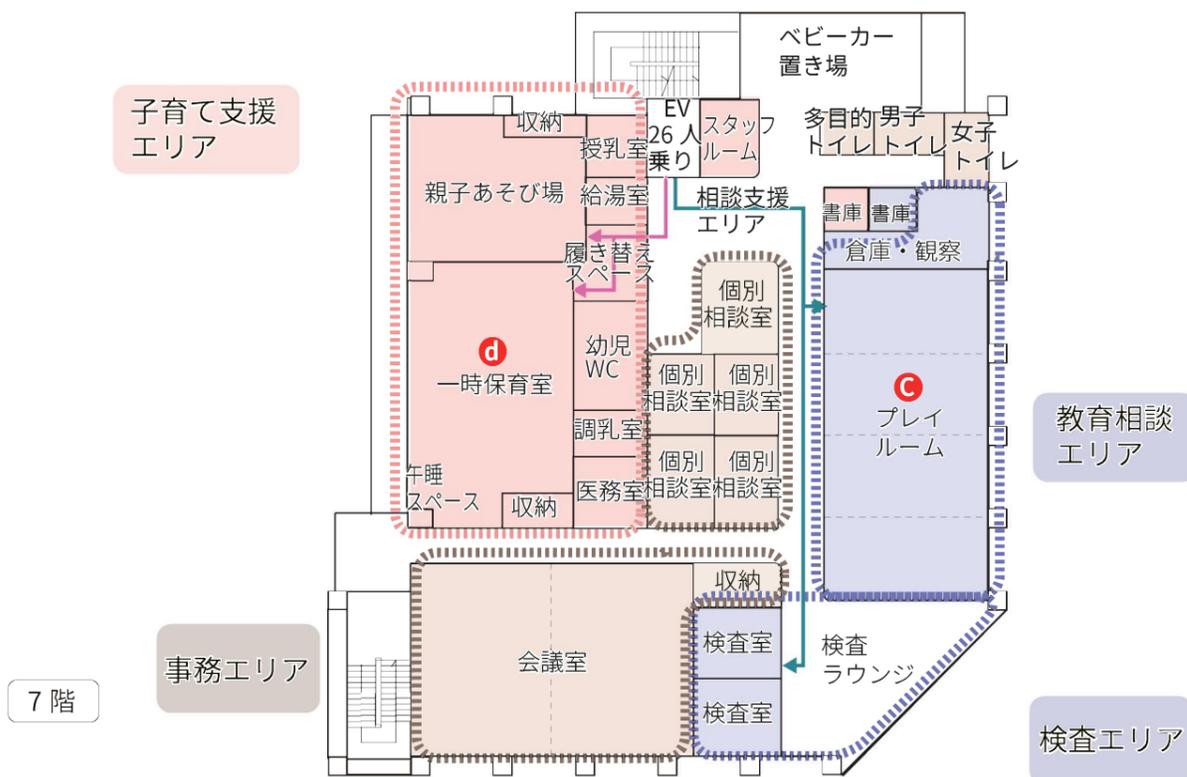
 	子ども家庭支援センター
 	教育センター
 	子ども家庭支援センター・教育センター共有諸室

動線凡例

←	子ども家庭支援センター
←	教育センター
←	サービス



6階



7階



a 子ども家庭支援センター・教育センター受付 イメージ



b 子ども家庭支援センター 通所プレイルーム イメージ



c 教育センター プレイルーム イメージ



d 子ども家庭支援センター一時保育室 イメージ

※パースはイメージであり、今後変更の可能性がございます。